

第2期

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略の 関連事業（令和8年度）

事業名	ページ
【令和8年度当初予算（骨格予算）】	
子ども医療費支給事業	1
定住促進事業	2
企業立地推進事業	3
尾張津島藤まつりプレイベント事業	4
【令和8年度6月補正予算（肉付け予算）】	
（概要版）全国トップクラス 子育て支援トータルプランの強化！～こどもが産まれる前から産み育てるまで丸ごと支援～	5
小中学校給食費等の補助事業	5、6
3歳から5歳児の保育所等副食費補助事業	5、6
こども家庭センター事業（うち、子育て世帯訪問支援事業）	5、7
不妊治療費助成事業	5、8
（概要版）まちづくり再生「次の未来へ！」～駅周辺をもっと便利に！ みんなでつくる津島の未来～	9
津島駅周辺まちづくり事業	9、10
土地利用推進事業（北の玄関口事業計画等検討事業・藤浪駅南部土地利用構想検討事業）	9、11、12
（概要版）ハード・ソフト両面からの浸水対策！～安心・安全なまちづくりに向け取組を本格化～	13
雨水管理総合計画策定事業	13、14
止水版・防水シートの購入費補助事業	13、15
自主防災組織に「土のう」を無償提供事業	13、16
津島おでかけタクシー事業	17
津島地区医療センター長寿命化改修事業	18

こどもの医療費、完全無料化を継続します

医療費ゼロで引き続き子育てを応援！

～通院も、入院も自己負担は0円～

予算額 2億9,241万1千円【継続】

津島市では、こどもが生まれる前から生み育てるまで丸ごと応援する子育て支援トータルプランの一環として、**18歳までのすべてのこども**を対象に、所得制限なく、通院・入院ともに医療費を**完全無料化**しています。

こどもの医療費の完全無料化は、令和4年10月から途切れることなく継続してきました。

子育て世代が安心して必要な医療を受けることができるよう、引き続き事業を実施してまいります。

○子ども医療費支給事業 2億9,241万1千円【継続】

18歳到達後最初の3月31日までのこどもを対象に、所得制限なしで、通院・入院ともに、保険診療にかかる医療費（自己負担分）を無料化しています。

マイナ保険証の利用によって、医療受給者証を提示しなくても、マイナンバーカードだけで受診できる環境づくりを進めており、よりスムーズに医療機関を受診できるよう取り組んでいます。



マイホームの新築や中古住宅を取得し

リフォームされる方に補助金を交付します！

～あたらしい生活を歴史と文化のまち津島ではじめよう～

予算額 4,394万5千円【継続】

津島市への移住・定住を促進することを目的に、市内で新築された住宅を取得した方、中古住宅を取得してリフォームする方を対象に補助金を交付します。津島市では、令和2年4月から定住促進を目的とした住宅取得支援を実施しています。

○定住促進事業補助金 4,394万5千円【継続】

(1) 新築

旧津島エリア	45件	2,957万円
神守・唐臼・16団地エリア	14件	368万円

(2) リフォーム

中古住宅取得分	7件	1,070万円
---------	----	---------

新築（旧津島エリアの場合）

(基本額)	固定資産税（土地・家屋）	最大60万円
(加算額)	親世帯近居／同居	+50万円
	子(中学生以下)と同居	+10万円（1人当たり）
	2階建て	+10万円
	長期優良住宅	+10万円
	省エネ住宅（GX志向型）	+10万円
	空家を解体する場合、	最大+50万円

補助額最大 210万円

【市内16団地】

神守・葉苅・青塚・宇治・みずほ・江南・百島・
喜多神（宇治、蛭間）・下切・みどり台・こがね・
永宝・さかえ・上春日台・下春日台・東愛宕

リフォーム

(基本額)	リフォーム費用	最大120万円
(加算額)	市内業者	+30万円
	空家	+20万円

補助額最大 170万円



津島市へ進出する企業を支援します

～相談から操業まで、ワンストップで伴走します～

予算額 5,936万8千円【継続】

企業誘致を推進するための**企業誘致補助金**のほか、**規制緩和**や**ワンストップ窓口**などにより津島市に企業が進出しやすいよう**企業に寄り添ったサポート**をしています。

その結果、これまで市が指定した6つの区域**約51万㎡**で、**21社の誘致**に成功しました。

企業誘致補助金 予算額 5,936万8千円（10社）

指定区域へ進出した企業に対して、以下の補助金を交付します。

企業立地促進補助金：固定資産税の一部を3年間補助

インフラ整備補助金：インフラ整備に要した費用の一部を補助

<その他企業誘致支援策>

規制緩和

- ・工場立地場所の確保（約51万㎡）
都市計画法34条12号に基づき6つの区域を指定
- ・緑地規制の緩和（工場立地法等に基づく条例制定）
例：緑地面積率20%以上を5%以上に緩和

ワンストップ窓口

事前相談から操業開始まで、ワンストップ担当が市の相談窓口を一本化し、伴走型で企業立地をサポート



企業誘致 指定区域

尾張津島藤まつりプレイベントを開催！

～藤まつりの開幕に向けて、期待感を高めます～

予算額 98万3千円【新規】

津島が誇る春の象徴である「尾張津島藤まつり」を、令和8年4月15日（水）から29日（水・祝）まで天王川公園で開催する予定です。天王川公園の藤棚は、長さ275m、約5,000㎡の壮大なスケールで天下一と言われており、特に藤棚の下を流れる疎水の水面に、藤の花が美しく映る姿は絶景です。また、期間中は藤棚のライトアップも加わり、天王川公園全体が光に包まれます。

令和8年尾張津島藤まつり開幕に向けた期待感を高め、PRを実施するため、プレイベントを開催します。

○ 尾張津島藤まつりプレイベント事業 98万3千円【新規】

（1）開催日

令和8年4月11日（土）

（2）場所

天王川公園ステージ

（3）内容

市内団体による琴演奏、キッズダンス披露等
※内容は、変更になる可能性があります。



全国トップクラス

子育て支援トータルプランを強化！

～こどもが産まれる前から産み育てるまで丸ごと支援～

補正予算額 9, 4 9 1 万 7 千円

年齢期に応じた継続的な3つの子育て支援で、子育て世代の皆さんへ安心をお届けします。

① 給食費・副食費に対する支援 9, 0 2 4 万 7 千円 (子育て支援その①)

・ 小中学校給食費無料化事業 (学校教育課) 5, 1 8 5 万円

補助額 中学生1人あたり年間約 70,000 円

(小学生については年間約 63,000 円無料化実施済)

・ 保育所等副食費無償化事業 (幼児保育課) 3, 8 3 9 万 7 千円

補助額 3歳から5歳児1人あたり年間約 59,000 円 (月額 上限 4,900 円)

② 子育て世帯訪問支援事業【新規】(子育て支援課) 9 2 万円 (子育て支援その②)

家事・子育てに不安を抱える子育て家庭やヤングケアラーがいる家庭への家事支援や子育て支援
利用料 無料

③ 不妊治療費助成事業【新規】(健康推進課) 3 7 5 万円 (子育て支援その③)

不妊治療における経済的な負担を軽減するため、保険診療と併用して実施する先進医療に係る
費用の一部を助成

助成額 先進医療に要した費用の 10 分の 7 (上限 5 万円)



子育て支援
その①

子育て世代を経済支援！

～令和8年度も小中学校給食費完全無料化、 保育所・幼稚園・認定こども園等の副食費を無償化します～

予算額 9, 024万7千円

子育て支援とエネルギー価格・食料品価格等の物価高騰による保護者の経済的負担軽減を図るため、令和7年度に引き続き令和8年度も、小中学校の給食費の完全無料化及び保育所・幼稚園・認定こども園等の副食費の無償化を実施します。

○小中学校給食費無料化事業 (学校教育課) 5, 185万円

＜対象＞

市立小中学校に在籍する全児童及び全生徒
約3,600人

＜完全無料化期間＞

令和8年4月から令和9年3月分まで
(令和8年4月から6月分は当初予算計上済み)

＜児童生徒1人あたりの保護者負担軽減見込額＞

中学生 年間約70,000円
小学生 年間約63,000円(無料化実施済)



○保育所等副食費無償化事業 (幼児保育課) 3, 839万7千円

＜対象＞

保育所、幼稚園、認定こども園等に入園している
市内在住の3歳から5歳児までの園児
約900人

＜無償化期間＞

令和8年4月から令和9年3月分まで
(令和8年4月から6月分は当初予算計上済み)

＜園児1人あたりの保護者負担軽減見込額＞

年間 約59,000円(月額 上限4,900円)

子育て支援
その②

子育て世帯訪問支援事業を開始

～子育て世代の家事・育児をサポートします～

補正予算額 92万円【新規】

家事や子育てに不安や負担を抱える子育て世帯や妊産婦、ヤングケアラー等がいるご家庭を訪問支援員が訪問し、ご家庭が抱える不安や悩みをお聴きするとともに、家事や子育てを無料で支援することにより、こどもの養育環境を整えます。

○子育て世帯訪問支援事業

<対象者>

津島市内に住所を有する18歳未満の未成年者を養育するご家庭で、こどもや保護者、妊婦からの相談等により、本事業による支援が必要であると市が認めた世帯

<利用について>

原則、利用期間を3カ月までとし、
1日2時間かつ1カ月あたり20時間以内

<利用料>

無料



子育て支援
その③

コウノトリ支援を実施！

～不妊治療における経済的な負担を軽減します～

補正予算額 375万円【新規】

不妊治療における経済的な負担を軽減するため、保険治療と併用して実施する先進医療に係る費用の一部を助成します。

○不妊治療費助成事業

＜対象者＞

両方または一方が津島市に住所を有する夫婦（事実婚含む）で、生殖補助医療（保険診療）を行う際に、併用して先進医療を実施した者

＜対象費用＞

令和8年4月1日以降、生殖補助医療（保険診療）と併用して実施された先進医療に要した費用

＜助成額＞

先進医療に要した費用の10分の7（上限5万円）

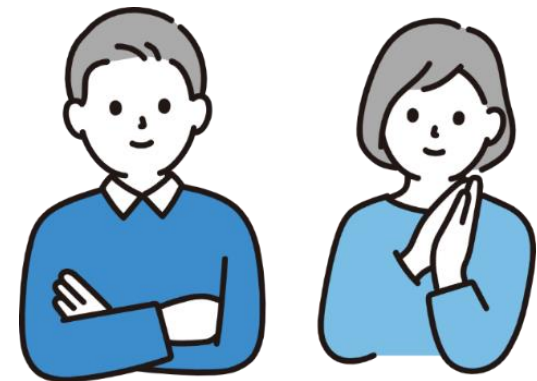
＜助成回数＞

40歳未満の場合：1子ごとに6回まで

40歳以上43歳未満の場合：1子ごとに3回まで

＜申請開始日＞

令和8年7月1日



(概要版)

まちづくり再生「次の未来へ！」

～駅周辺をもっと便利に！

みんなでつくる津島の未来～

補正予算額 1億7,875万4千円

津島駅・青塚駅・藤浪駅周辺のまちづくりをさらに推進し、駅から広がる「わくわくするまちっしま」を前に進めます。

① 津島駅周辺再整備事業（まちづくりその①）

1億5,388万3千円

令和7年度から工事を進めている東側駅前広場を拡張し、イベント広場、ステージ、公衆トイレを整備します。

② 北の玄関口事業計画等検討事業（まちづくりその②）

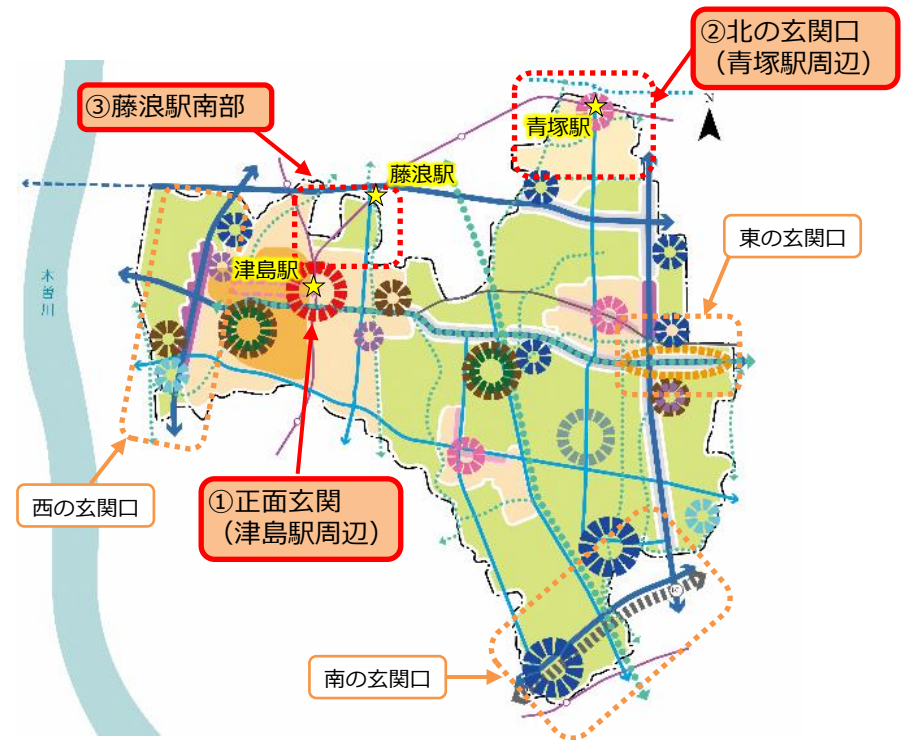
1,335万4千円

青塚駅周辺のまちづくり計画を進めます。

③ 藤浪駅南部土地利用構想検討事業（まちづくりその③）

1,151万7千円

藤浪駅南部の市街化区域編入に向けた検討を行います。



【都市計画マスタープランの将来都市構造図】

(詳細版)

まちづくり
その①

まちづくり再生第4弾！ 正面玄関「津島駅」

～東側駅前広場が完成します～

補正予算額 1億5,388万3千円

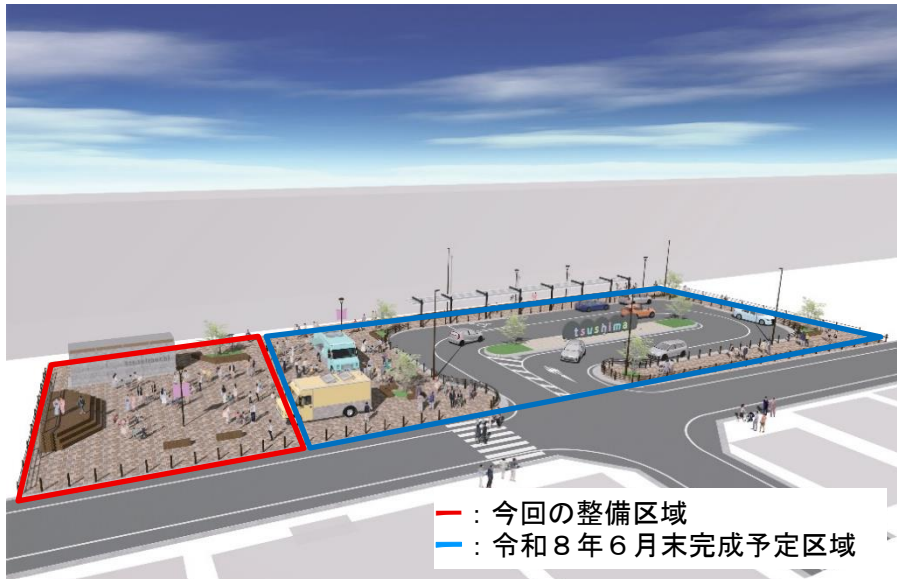
第1弾の天王川公園 Park-PFI、第2弾の津島神社周辺エリア観光ターミナル、第3弾のつしまクロスに続き、第4弾の津島駅周辺再整備を進めます。

○津島駅東側駅前広場・トイレ等整備工事 1億4,700万円

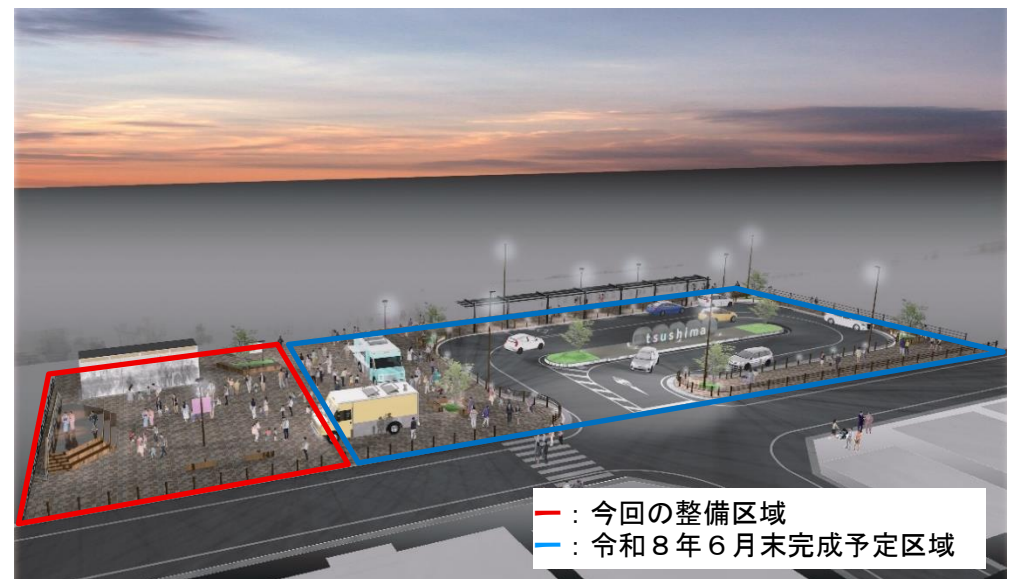
令和9年3月の供用開始に向け、イベント広場、ステージ、公衆トイレを整備します。
東側駅前広場が完成し、駅周辺のさらなる賑わい創出・利便性向上を推進します。

○その他関連委託料 688万3千円

工事監理委託料 等



【昼間のイメージ】



【夜間のイメージ】

(詳細版)

まちづくり
その②

北の玄関口（青塚駅周辺）を実現へ！

～まちづくり計画の検討を行います～

補正予算額 1, 3 3 5 万 4 千円

本市の「北の玄関口」となる青塚駅周辺について、駅の近接性を活かした居住環境の実現に向けて、地域住民との勉強会を開催し、まちづくり計画を検討していきます。

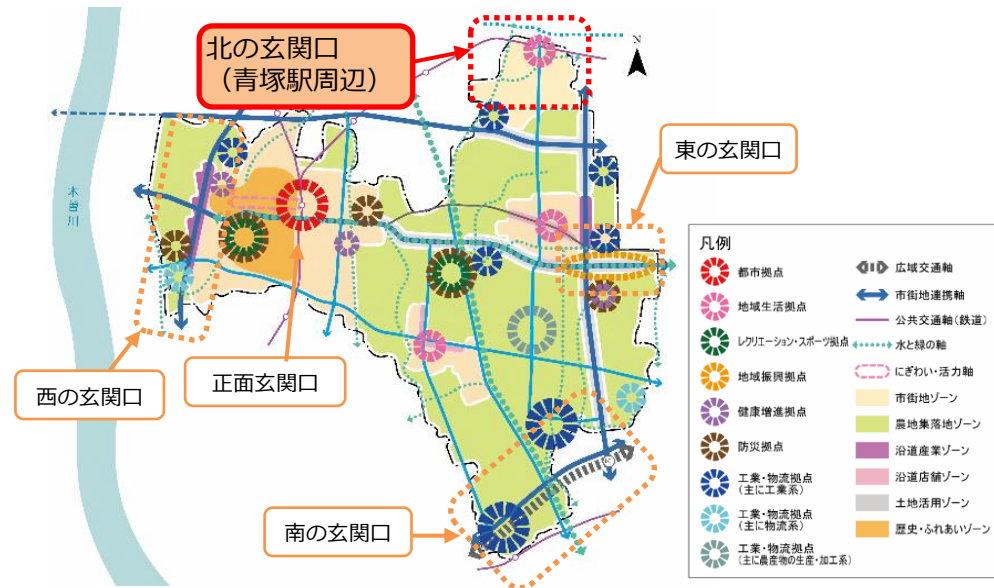
○北の玄関口事業計画等検討事業

【検討内容】

- ・地域住民を交えた勉強会
- ・まちづくり計画の検討



【北の玄関口（青塚駅周辺）のまちづくりイメージ図】



【都市計画マスタープランの将来都市構造図】

(詳細版)

まちづくり
その③

藤浪駅南部を市街化区域に編入へ！

～土地利用構想の検討を行います～

補正予算額 1, 151万7千円

藤浪駅南部の市街化区域編入に向け、駅の近接性を活かした新たな宅地供給や生活利便施設の立地促進を目指すため、地域住民とまちづくり勉強会を行いながら、土地利用構想の検討を行います。

○藤浪駅南部土地利用構想検討事業

【検討内容】

- ・ 地域住民を交えた勉強会
- ・ 土地利用構想の検討

【検討区域】

約 35ha（市街化調整区域）

高畑町、寺前町1丁目、2丁目、3丁目の全部、
西柳原町4丁目、東柳原町5丁目、柳原町5丁目、
藤里町3丁目の一部



Source: Esri, Maxar, Earthstar Geographics, and the GIS User Community

(概要版)

ハード・ソフト両面からの浸水対策！ ～安心・安全なまちづくりに向け取組を本格化～

補正予算額 4, 881万2千円

安心・安全なまちづくりに向け雨水管理総合計画を策定するとともに、自主防災組織への支援や市民の災害への備えの強化に取り組めます。

① 津島市雨水管理総合計画策定[※]（浸水対策その①） （都市整備課）4,700万円

昨年度に業務が完了した基礎調査資料を基に、雨水管理総合計画の令和9年度策定を目指し、豪雨による市内の浸水被害の軽減に努めます。

【海部地域初】

② 止水板・防水シートの購入費補助（浸水対策その②） （危機管理課）150万円【新規】

近年の集中豪雨や台風等による浸水被害への備えを強化するため、市民が自ら行う浸水対策に対する補助制度を創設します。

③ 自主防災組織に「土のう」を無償提供（浸水対策その③） （危機管理課）31万2千円【新規】

昨年的大雨により浸水被害を受けた中心市街地（市内西側地域）を中心に、自主防災組織に対して土のうを提供し、急な大雨等に備え、土のうの配布体制を構築します。



※ 津島市雨水管理総合計画とは
下水道による浸水対策を実施するうえで、当面・中期・長期にわたる下水道による浸水対策を実施すべき区域や目標とする整備水準、施設整備の方針等の基本的な事項を定めるものです。

浸水対策
その①

冠水対策の強化！

～雨水管理総合計画を作成します～

補正予算額 4,700万円

令和9年度の計画策定に向けて、令和7年度に収集した基礎調査資料を基に、令和8年度は雨水管理方針策定（効率的な排水処理に向け、有効な対策や優先的に整備する区域等を検討）などを進めてまいります。

○津島市雨水管理総合計画策定（主要内容）

委託【継続】

令和7年度 雨水管理総合計画策定のため基礎調査資料の
収集



令和8年度 雨水管理方針策定、浸水シミュレーション解
析による雨水出水浸水想定区域図の作成



令和9年度 段階的対策計画策定、詳細シミュレーション、
内水ハザードマップ作成

これらの雨水管理総合計画策定後、法定手続きを経て、
令和10年度に基本設計、具体的な詳細設計へと進んでいきます。



(詳細版)

浸水対策
その②

「もしも」の浸水を
「いつも」の備えで防ぐ

～止水板・防水シートの購入費補助で
市民の安心をサポート～

海部地域初

補正予算額 150万円【新規】

台風や集中豪雨などによる自宅等への浸水被害を軽減するため、止水板や防水シートの購入に対する補助制度を創設し、市民の自助による防災・減災対策を支援します。

○災害対策促進費補助金

- 補助対象 : 止水板（工事を伴うものを除く）、防水シート
- 補助率 : 1／2
- 補助上限額 : 年3万円（3万円×50件＝150万円）
- 補助対象者 : 市内在住の世帯主又は市内の事業主



▲止水板の例



▲防水シートの例

(詳細版)

浸水対策
その③

水害被害抑制の「初動」は地域から！

～自主防災組織に「土のう」を無償で提供します～

補正予算額 31万2千円【新規】

台風や集中豪雨などによる浸水被害に備えるため、昨年大雨により浸水被害を受けた中心市街地（市内西側地域）の自主防災組織に対して土のう約400個を無償提供します。

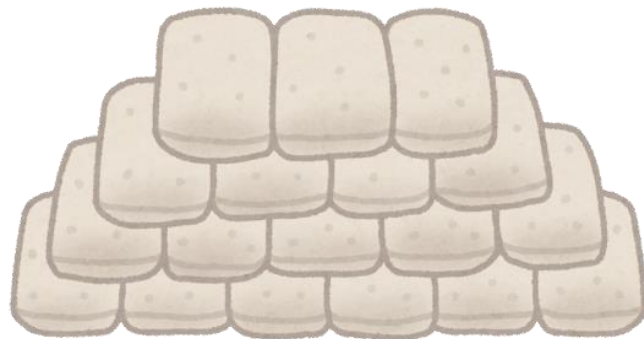
提供した土のうは地域の身近な施設等に配備され、必要な時に持ち帰ることができる体制を構築することで、地域と連携して水害被害の抑制を目指します。

○配布する自主防災組織

- ・ 東小学校区
- ・ 西小学校区
- ・ 南小学校区
- ・ 北小学校区

○期待される効果

- ・ 浸水被害の軽減！
- ・ 住民の迅速な自衛対応の支援！
- ・ 市と自主防災組織の連携強化！
- ・ 地域防災力の向上！



地域で土のうを保管



必要時には、速やかに地域住民の元へ

『津島おでかけタクシー』

料金の4分の3補助を継続！

～引き続き外出を支援します～

補正予算額 3,907万8千円

4分の1の料金でタクシーが利用できる「津島おでかけタクシー」を令和7年度に引き続き、令和8年度も継続します。

令和5年1月の開始から令和7年度までの利用件数の累計は10万件を超え、高齢者、障がい者、妊産婦の外出の機会が広がっています。今後も社会参加の機会を増やし、健康増進を支える事業として継続します。

○利用件数、利用登録者数の推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用件数	4,418件	28,976件	31,406件	41,545件
利用登録者数 (年度末時点)	2,487人	3,464人	4,030人	4,658人



○4分の1負担実施期間

令和8年4月から令和9年3月まで
(令和8年4月から6月分は当初予算計上済み)。



津島地区医療センターを改修！

～より快適な診療環境を整備します～

補正予算額 1億4,784万5千円【新規】

老朽化した津島地区医療センターを改修し、市民の皆様が安心して受診できる、快適な診療環境を整えます。

○津島地区医療センター長寿命化改修工事

1億4,317万2千円

<改修内容>

- ・屋上および外壁の防水
- ・内外装の改修
- ・照明のLED化
- ・床、トイレの改修
- ・外部スロープに手すりの設置
- ・駐車場の改修 など

○津島地区医療センター長寿命化改修工事監理業務

448万8千円

- ・改修工事の監理業務を委託

○備品購入費

18万5千円

- ・調剤台の購入

津島地区医療センター（津島地区休日急病診療所）

所在地：津島市藤浪町4丁目14番地

運営主体：一般社団法人津島市医師会

診療科目：内科、小児科

診療日：日曜日、祝日、年末年始（12月30日～1月3日）

受付時間：午前9時から11時30分まで

午後1時から4時30分まで

